

令和7年度 第4回

多治見市陶磁器意匠研究所
公開特別講義
vol.72

石崎泰之

岐阜県現代陶芸美術館 館長

「土と手を合わせる
— 素材の潜勢力について」

10/3 (Fri)
13:30 - 15:00

聴講無料 要申込 ※外部聴講定員15名

場 所：多治見市陶磁器意匠研究所 講義室

多治見市陶磁器意匠研究所では、研究生向けの授業である特別講義を、市民の皆様に公開しています。令和7年度第4回は、岐阜県現代陶芸美術館館長の石崎泰之先生による公開特別講義を開催します。

※聴講には事前申込（外部聴講定員15名）が必要です。参加をご希望の方は、下記の問い合わせ先にお申込下さい。



＜石崎泰之プロフィール＞

1960年愛媛県松山市生まれ。1983年筑波大学芸術専門学群芸術学専攻卒業。1995年山口県教育庁文化課萩美術館・浦上記念館開設準備室、1996年同館専門学芸員、2007年同館学芸課長、2017年同館副館長兼学芸課長、2018年同館副館長。2021年4月から岐阜県現代陶芸美術館館長に就任。

山口県立萩美術館・浦上記念館では、「龍人伝説への道—三輪休雪展」「古萩—江戸の美意識—」「すみずり—赤間硯の造形」「彫金のわざと美 山本晃の詩想と造形」「茶陶の現在—2018萩」など地域の文化資源である工芸とその表現性を紹介する展覧会を企画したほか、「三輪壽雪の世界」「今右衛門の色鍋島」「三輪龍氣生展」といった数多くの陶芸展の巡回展示に携わった。また、わざの美を競うわが国最大級の公募展である日本伝統工芸展の鑑査委員をはじめ、日本陶芸展や女流陶芸展といった現代の先端的な陶芸表現を選抜する全国規模の公募展審査員を務めるなかで、秀でた人材の発掘・育成に関与している。日本の近世陶磁史や陶芸批評に関する著述がある。

主な著作物

『窯別ガイド日本のやきもの 萩』（淡交社 2002年）

『茶陶萩—その伝統と革新性』（萩ものがたり 2014年）

『近世期萩焼茶碗の造形』所収『山口県史 通史編 近世』（山口県2022年）

『陶芸新潮流』（毎日新聞西部本社版 2008年1月～2014年12月連載）

●お問い合わせ

多治見市陶磁器意匠研究所 人財育成グループ

〒507-0803 岐阜県多治見市美坂町2-77 TEL: 0572-22-4731 FAX: 0572-25-0983

E-mail: ishoken-jinzai@city.tajimi.lg.jp

URL: <https://www.city.tajimi.lg.jp/ishoken/index.html>

